



感謝

校訓

かしこく たくましく うつくしく

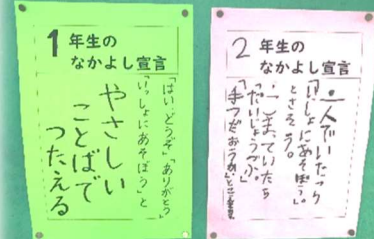
令和3年7月8日 第4号 文責 梶原 圭一



かかわり合う力の育成を目指す「なかよし宣言」

1学期の人権週間のテーマは、児童会を中心に「見直そう。自分と友だち、かかわり合い」と決められました。本校の子供たちに身につけたい資質・能力である「かかわり合う力」を学校全体で高めていくことを目的に設定されたようです。このテーマをもとに、各学級では「なかよし宣言」を決め、生活場面で意識しながら過ごしています。決められた「なかよし宣言」を見ていると、各学級で友達との関わりをより深めていくために必要なことをしっかり話し合って決められたことが伝わってきます。かかわり合う力を高めていくためには、相手の立場に立って考える経験と感性が必要となりますし、「声をかける」「伝える」「さそう」といった自ら働きかける力も身に付けていかなければならないでしょう。

子供たちが考えたこの「なかよし宣言」は、この期間中だけではなく、1年間をかけて大切に、学級の姿を振り返る宝としていきたいと思ひます。



- 1年生・・・「はい、どうぞ」「ありがとう」「いっしょにあそぼう」と
やさしいことばで つたえる。
- 2年生・・・一人でいたら「いっしょにあそぼう」と さそう。
こまっていたら「だいじょうぶ」「てつだおうか」と こえをかける。
- 3・4年生・・・男女・学年かんけいなく 助け合っ て 楽しいクラスにする。
- 5年生・・・いっしょの時間を過ごし、友だちのいいところを見つける。
一人の人がいたら声をかける。
あだ名でよばない。
- たんぼぼ学級・・・相手の気持ちを考えて やさしい言葉かけをする。
- 6年生・・・信頼し合い みんなスマイル

わたしの命を守るために

「わたしの命を守る」取組として、様々な災害等を想定した避難訓練を行っています。6月は、地震による津波が発生した際の被害や、近年増加している大雨に伴う被害を想定した避難と保護者への引き渡し訓練を行いました。この取組は昨年度から始めたのですが、各家庭のご理解とご協力をいただき、子供たちの引き渡しを終えることができました。

今回の避難訓練は、学校の横を流れる小路川が増水して氾濫の恐れがあり、通学路の安全が確保できない状態を想定して実施しました。坂瀬川地区では、平成27年6月11日未明からの大雨で小路川が氾濫し、大きな自然災害に見舞われた経験があります。その経験を考慮した訓練でしたが、様々な課題も浮かび上がってきました。迎えに来られた方の車を運動場に入れることができない場合、安全に引き渡しを行うにはどのように方法があるかは大きな課題です。また、校外に避難できない場合、できるだけ校舎の高い場所に垂直避難することが必要ですが、本校のどの場所が一番安全であるかなど、検討しなければならない課題もあります。今回の反省を踏まえて、より実効性が高く、子供たちの安心・安全を確実に守ることができ本校なりの避難方法を、保護者や地域の方々のご意見を聞きながら作り上げていければと考えています。

学びに向かう力を育む授業を目指して

子どもたちが過ごす学校生活の大半は、授業の時間です。授業の中で、「分かった、できた、もっとやってみよう」という経験を日々積み重ねていくことで、学校生活への満足感や充実感を味わい、「学校が楽しい」という気持ちをより高めることができると考えています。そのために、子どもたちを「**授業で育てる**」を合い言葉に、「自ら学び ともに学ぶ」を体現する授業づくりに取り組んでいます。

本年度は特に、熊本県学力・学習状況調査等の結果から、子どもたちの文章や問題を読む力を高める必要があるという課題を踏まえ、国語科の授業づくりに力を入れています。音読や漢字の読み書きといった読むことの基礎・基本の徹底を図るとともに、文章を読むときにどのような言葉に着目して読めばよいのか、また読み取ったことを基にどのような言葉で自分の考えを伝えればよいのかを「自ら学び ともに学ぶ」学習活動を進めています。

先日、6年生で国語の研究授業を行いました。授業の進め方や本校の取組の在り方について、熊本県立教育センターから指導主事の先生をお迎えし、アドバイスをいただきました。本校の子どもたちの「学びに向かう力」を高めるために、全職員で知恵を絞りながら、「分かった、できた、もっとやってみよう」と思える授業づくりに取り組んで行きたいと思えます。



感謝の気持ちを込めて!

プールを使った体育の授業が進んでいます。担任の先生方から「〇〇さんが25メートル泳げるようになりました。」「〇〇さんは、50メートル泳げるようになったんです。」といった報告を受けるたびに、うれしい気持ちでいっぱいになります。プール開きの際に、子どもたちには「自分たちできれいにしたこのプールで体育の授業ができることに感謝しましょう。そして、自分の命を守るために、自分なりの目標をもって泳ぐ力を身に付けていきましょう。」ということをお伝えしました。全国的に見ると、新型コロナウイルス感染拡大により、プールを使った体育の授業ができない学校も多数あります。そのような中であって、変わらず授業ができるこの環境に感謝する気持ちが必要でしょう。その上で、目標に向かってチャレンジできる素晴らしさを感じてほしいと思っています。本年度は、5・6年生参加の町内小体連水泳記録会を実施する予定です。記録会が行われることや、会場として使わせていただく志岐小学校、感染症対策を考慮して大会を計画していただいた先生方、当日の観覧はできませんが応援してくれている家族の方々に感謝の気持ちを持ち、自分の記録を少しでも更新できるよう頑張りたいと思います。



<お願い>

今後、台風の接近等による大雨が心配されますが、車で送り迎えされる際は、安全確保のために、坂瀬川保育園側から入られ、理科室前で子どもさんを乗降していただき、体育館方向に抜ける一方通行にご協力をお願いいたします。